

## 目次

読書から人間学	1
読書スタンプラリー 2010 感想コメント	2
第3回学生選書ツアーの“おすすめ本”	3
インフォメーション	4

## 読書から人間学

図書館長 松坂 たかよし



昨年は「国民読書年」。図書館では「読書スタンプラリー2010」、「学生選書ツアー」などを企画して学生達からかなりの反響がありました。今回は、「読書」について、日頃考えていることを述べてみたいと思います。

新聞の書評を見て、「あ、これ、読んでみよう!」とさっそく書店に行く。友達との話に登場した本が気になって書店に立ち寄ってみる。美術展を見てその画家と作品のことをもっと知りたくなり、地域の図書館に行く。インターネットで調べ物をしていると、参考文献のひとつに、ふと目が止まり、学校の図書館で検索してみる。課題レポートを書くのに苦心して文献を探しているとピッタリの本に出会って嬉しくなった。など。

「その本」を手にするきっかけは、ひとそれぞれのように思われるが、新聞や友達など他者からの働き掛けに応じて本を買う場合と、美術館に行くなど自分から動いて、もっと深く知りたくなって図書館に行く、などの場合に分けることが出来よう。

ゼミなどで身近な学生達をみていると、メディアや友達仲間で話題になったテーマについてネットで探索し、「これかな?」と出会った本を読む場合もあるし、課題レポートを完成するために粘り強く本を検索し、見つけた本を熟読・活用する場合もあるようだ。

ここで、自分の若いころの読書体験をもとに、読書の動機について考察してみよう。

完読した一番長い小説は、山岡荘八の「徳川家康」26巻で、25歳の時、6か月位で読み終えた。壮大な歴史・人間ドラマの展開であるが、その

続きはどうなるか、を予測しながら最後まで胸をワクワクさせながら読んだ。読み通した最も厚い本は、The Bookと言われる聖書である。ヨーロッパの文化を理解するために必須の書物という動機もあったが、意外と面白く読み終えて、2回目は英語で読んでみると、英国のオックスフォード大学編集の聖書とアメリカの出版社の聖書では英語がずいぶん異なることを知って驚いた。

その他、読み応えがあった本のことを思い巡らせると、読書は、もっと知りたい、もっと深く理解したい、といった内発的な動機によって駆り立てられたとき、自然に引き込まれ読み耽ることになるのではないか。ほかの動物も「好奇心」から行動することが明らかにされているが、「知的な好奇心に満ちた存在」としての人間は、我々にとって最後まで興味を持ち続けることのできる対象であり、何よりも面白い研究対象なのだろう。学部学科によって専門領域が異なっても、宇宙の時間の流れ、人類の時間の流れのなかで、一瞬の生を受けた自己を見つめて何をすべきか発見したり、他者を愛することの意味を考えたり、人間学を深めるにはやはり読書が一番良いと思う。東京成徳学園の建学の精神＝徳を成す人間の形成、教育の5つの目標、とりわけ「おおらかな徳操」や「高い知性」、「実行の勇氣」は読書を通して育まれる資質である。

学生諸君が、「読みたい本を読みたいだけ読める読書環境」を整えるのが私たちの務めであり、図書館はいつでも開いているので、どうぞ、授業の合間など少しでも時間が出来たら是非図書館に来て頂きたい。



# 読書スタンプラリー 2010 感想コメント

図書館では、学生みなさんに楽しみながら本を読んでもらえるよう、「読書スタンプラリー 2010」を企画しました。

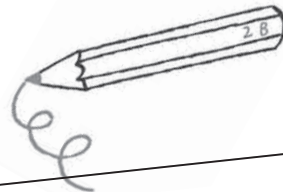
エントリーした方には、本学図書館に置いてある本を読んで80字以上の感想コメントを書いてもらい、感想コメント1点についてスタンプ1個を押しました。また、スタンプを多く集めた方には、特典として図書カードを贈呈しました。

夏から秋にかけての5ヶ月という長丁場、エントリーした学生さんたちは頑張って読書にいそしんでいたようです。

今回の「読書スタンプラリー 2010」にエントリーした学生さんたちからは、感想コメントが多数集まりました。その中から、何点かをご紹介します。

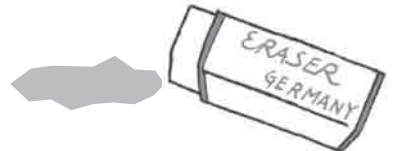
書名	オーデュボンの祈り
編著者名	伊坂幸太郎／著
出版社	新潮社
<p>普段何気なく田舎の畑に立っているカシが、自分の意志で思考し、ものを言う斬新な物語です。登場する人々もそれぞれ何かしらの変わった要素を持っており、その変わった要素が物語に少しずつ関係しているという、無駄の無い設定だと感じました。それぞれの章の至る所に格言のような、読者に思考させるような言葉が散りばめられている、ミステリーという括りだけに収まらない作品のように思われます。</p>	
所属 お名前	子ども学部 1年 じゃがりこさん

書名	犬と私の10の約束
編著者名	サイトウアサキ／作
出版社	アスキー・メディアワークス
<p>表紙の犬の写真がかわいくて、手にとった本でしたが、字も大きくて読みやすくて心あたまる本でした。あかりが大人になるにつれて、ソックスに生活を縛られていると感じ、ソックスは1度あかりにつき離されますが、あかりの為に必死にアイスの当たり棒を探しているソックスがとても優しく、犬の賢さを改めて感じました。</p>	
所属 お名前	経営学部 1年 ぴんくさん



書名	短篇ベストコレクション 現代の小説2009
編著者名	日本文藝家協会／編
出版社	徳間書店
<p>好きな作家がない、電車の中で本を読みたいと思う人、特にお勧めの本である。もちろんそれ以外の人でも、次々と違った雰囲気の商品が読めるので楽しめると思う。私が一番気に入ったのは、一番最初の浅田次郎さんの「琥珀」であった。もうすぐ時効のくる殺人事件の犯人と、もうすぐ定年をむかえる非番の警察官。そんな特に目新しい設定ではない設定が、この話ではとても静かに、けれどとても鮮やかに描かれていてと感じた。作中全てがそうだが、特に結末が人間臭くてとても良かった。</p>	
所属 お名前	幼児教育科 1年 つきのわさん

書名	ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。
編著者名	辻村深月／著
出版社	講談社
<p>この作品は長い時間をかけて読むべきだと思います。じっくり、深く、理解しようとするほど、楽しく、おもしろく読めてきました。友達との付き合い方、両親との接し方が人それぞれであること、自分の考えと相手の考え方が違うことにもがきながら生きていくことの大切さを知りました。なぜ事件を起こしたのか、なぜ行方不明なのか、それらの謎が読んだ後にはスッキリと解決していて、すがすがしい気分になりました。オススメです。</p>	
所属 お名前	子ども学部 4年 山形佑太さん





# 第3回 学生選書ツアーの“おすすめ本”

後期に実施した「学生選書ツアー」に参加された学生さんからのおすすめ本を紹介します。

『心理分析ができる本』 齊藤勇／著

三笠書房 請求記号：140.4||Sai

恋をしていると、相手の気持ちが気になるものです。間かすとも、しぐさで分かるようになったら、すごいですよね！！

この本には、男性・女性、それぞれの立場から恋愛で一歩リードできそうなワザが深層心理学をもとに書かれています。その他、普通の人間関係についても触れているので“恋はお休み中”の人にもおすすめです。

(言語文化コミュニケーション科2年 くらめめさん)

『作家と猫のものがたり』 yom yom 編集部／編

新潮社 請求記号：645.7||Yom

この本は、作家の愛猫たちが出てくる作品です。是非、猫が好きな人は読んでみてください！

(言語文化コミュニケーション科2年 白石美貴さん)

『‘12 就職試験によく出る適性・適職問題』

就職対策研究会／編

高橋書店 請求記号：307.8||Shu

この本を選んだ理由は、今の短大生・4大生の就職率が厳しいので、今の1年生たちに読んでほしいです。少しでも、就活のことを知って今後に役立ててほしいと思いました。

(言語文化コミュニケーション科2年 今野菜穂さん)

『チビねずくんのクリスマス』 ダイアナ・ヘンドリー／作

ポプラ社 請求記号：726.6||Chi

今、季節にぴったり♡ クリスマスのお話

(幼児教育科1年 小岩さん)

『くまのがっこう』 あいはらひろゆき／文

ブロンズ新社 請求記号：726.6||Kum

絵本「くまのがっこう」シリーズは、11人のお兄ちゃんと1人だけの女の子のジャッキーというくまの子たちが仲良く暮らしているお話です。なんでもない日常があたたかく描かれています。

(幼児教育科1年 宇佐見さん)

『バナナの皮はなぜすべるのか？』 黒木夏美／著

水声社 請求記号：775.2||Kur

この作品をかいた人は、きっと、単なるヒマな人なんじゃないかな!? と思います。どうしてこんなことを調べているのか、答えはきっとこの本の中に! ある! ハズ。“笑”

電車内で読むには、ちょっとハズカシイから、ぜひブックカバーしてよんでみて下さい。

(言語文化コミュニケーション科2年)

『明日もまた生きていこう』 横山友美佳／著

マガジンハウス 請求記号：916||Yok

18歳でがん宣告を受けた横山友美佳さんの実話です。

(言語文化コミュニケーション科1年 Nさん)

『吟遊詩人ビードルの物語』 J.K. ローリング／作

静山社 請求記号：933.7||Row

この物語は、「ハリー・ポッター」シリーズの7巻で登場する本、「吟遊詩人ビードルの物語」を実際に書籍化したものです。この本は、魔法界では幼い子どもに読み聞かせる有名な童話集なのです。一話ごとに、ボグワーツの校長であるダンブルドアの解説もついています。「ハリー・ポッター」シリーズを全巻読み終わっている方は、楽しく読めると思うので、是非読んでみて下さい。

(子ども学部1年 中島裕梨さん)

『こびとづかん』 なばたとしたか／さく

長崎出版 請求記号：726.6||Kob

今、とても話題の1冊です。こびと達の気の抜けた表情にいやされます。

(子ども学部1年 佐藤璃子さん)

1階 展示コーナーにて展示中!



詳しくは裏面をご覧ください



## 展示のお知らせ

### 「第3回学生選書ツアー」報告

10月27日(水)に実施した「第3回 学生選書ツアー」に参加して頂いた学生のみなさんには、229冊の本を選書して頂きました。

書店に設置されているエスカレーターを使って2階から6階まで、何度も行ったり来たりしながらさまざまなジャンルの本を選びました。貸し出しも行っています。是非ご覧ください。



場 所：図書館1階 展示コーナー  
期 間：2010年11月18日(木)～2011年1月31日(月)

## 図書館利用案内

### 開館スケジュール

\* 変更する場合があります。図書館ホームページや学内掲示板もご確認ください。

□ 8:50～19:00    □ 8:50～14:00    □ 8:50～17:00    □ 休 館

1 月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

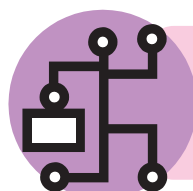
2 月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 春季休業中の貸し出しについて

春期休業中の在学生への貸し出しは、通常通りとなります。

卒業年次生（短大2年生、子ども学部4年生）への貸し出しは、**3月11日(金)**で終了します。



延滞図書のある方は至急返却をしてください！